

一般質問通告表

平成23年第5回沖縄県議会(定例会)

07月06日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	上原 章(公明県民会議)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 東日本大震災の対応について

- (1) 被災地や被災者への支援状況及び今後の取り組みを伺います。
- (2) 発生から4カ月近く経過し、県内に避難してきた方々への支援は十分か、要望を再確認(アンケート等)する必要はないか伺います。
- (3) 自立を目指し仕事につきたいとの声があるが、雇用環境が厳しく、国・県の支援が必要ではないか。
- (4) 県営住宅に入居している方々への延長支援はできないか伺います。

2 災害(地震・津波・台風等)対策について

- (1) 津波対策として主な公共施設(避難場所や電柱、歩道橋等)や民間施設に海拔表示ができないか伺います。
- (2) 避難場所となる学校施設の防災機能の向上が必要と思うが対応を伺います。
- (3) 公共住宅に非常用自家発電の設置が必要と思うが現状及び対応を伺います。
- (4) 県の備蓄体制(食料・生活必需品・医療品等)はどうか。
- (5) 県内自治体の「避難支援全体計画」、「災害時要援護者名簿の整備状況」、「個別計画の策定状況」が全国と比較しておわれています。現状と県の対応を伺います。
- (6) アジア・太平洋地域の災害援助拠点の形成について伺います。

ア 県が目指す災害拠点の内容を伺います。

- イ 2プラス2で災害救援拠点を日本に設置することが確認され、政府は下地島空港を想定しているとの報道があるが県への説明はあったのか。地元からは、軍事的利用は許されないとの声があるが県の認識、対応を伺います。

3 米軍基地問題について

- (1) 2プラス2の辺野古回帰は、普天間の固定化につながり、オスプレイの配置は危険性の増大そのものです。県は日米両政府にどう対応するのか伺います。
- (2) 5月20日に実施された嘉手納飛行場におけるパラシュート降下訓練について、軍は声明文で「天候が要因ではない」、「嘉手納基地は日本政府に了承された降下地帯である」と公表し、訓練の恒常化・固定化を示唆しています。これまでの例外的使用とは異なり、明らかにSACO合意に反しており断じて許してはならないと考えます。県はどう対応するのか、軍が出した声明文及び防衛局の回答を含め見解を伺います。

4 福祉政策について

- (1) 障がい者の権利条例制定の取り組みはどうか。当時者団体等との意見交換、連絡会議の設置、条例内容の検討、制定の時期等、県の対応を伺います。
- (2) 6月25日、26日に九州自閉症協議会が本県で開催され、専門医の確保や就労支援等多くの課題について議論がありました。県も参加していたが、感想と今後の取り組みを伺います。

5 教育政策について

- (1) 国際性に富む人材育成は本県の発展にとって大変重要と考えるが、教育長の見解及び取り組みを伺います。
- (2) 外国語教育の取り組みは十分か、現状と課題、今後の取り組みを伺います。

6 農水産業の取り組みについて

- (1) 島嶼県の本県にとって農水産物のブランド化は極めて重要であり、生産、加工、流通と総合的な支援が必要と思うが、県の取り組みを伺います。
- (2) 宮古島市は、県管理の下地島空港周辺の残地を農業的ゾーンとして利活用したいと計画を進めているが、地域の振興発展のため重要と考えます。県の対応を伺います。
- (3) 遺伝子組み換えパイナップル「台農5号」について
 - ア 輸入段階での検査体制はどうなっていたのか。
 - イ 「台農5号」について県は推奨していたのではないか。
 - ウ 農家や仕入れ・販売業者に責任があるのか。
 - エ 国や県は伐採を命じているが、農家等は被害者であり国や県がすべての損失に対し補償をすべきものとするが対応を伺います。
- 7 平和発信、平和教育の拠点として対馬丸記念館は重要であり、関係者から県に対し支援の要望があるが対応を伺います。
- 8 漫湖公園は市民・県民の憩いの場ですが、小禄鏡原側の河川敷は雑草が無造作に生い茂り、昼間でも安心して散策できない状況です。不法投棄の温床にもなり、早急な対策が求められていますが県の対応を伺います。
- 9 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成23年第5回沖縄県議会(定例会)

07月06日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	辻野 ヒロ子(自民党)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 土木行政について

(1) 新石垣空港建設整備事業について

- ア 事業の進捗状況と供用開始までのスケジュールについて伺う。
- イ 空港ターミナルビル(国内・国際)の状況と今後の取り組みについて伺う。
- ウ アクセス道路の進捗状況と今後の見通しについて伺う。
- エ 新空港の供用に伴う維持管理費及び教育・研修費の確保について伺う。

(2) 県営新川・真喜良団地建設について伺う。

(3) 名勝「川平湾」の環境改善について伺う。

- ア 川平湾内の推積土砂除去について
- イ 川平湾の観光船の係留施設の整備による景観改善について

(4) 新川川河口における赤土対策の強化について伺う。

(5) 土地改良区画整理事業に係る「地方特定道路整備事業」の継続について伺う。

(6) 竹富町白浜港の港口が狭いため一部開削整備について伺う。

2 農林水産業の振興について

(1) 石垣漁港広域漁港整備事業の県の支援について伺う。

(2) 外来種のキジ・クジャクの生態調査及び効果的な駆除の確立について伺う。

(3) パイナップル(ジュリオスター)種苗増殖事業及び購入に係る経費の助成について伺う。

(4) 八重山食肉センター(屠畜処理施設)の整備についての事業の内容、期間、総事業費について伺う。

(5) 石垣空港での台湾からのチャーター便到着時における靴底消毒(飛行機前や後方乗降口)の徹底について伺う。

(6) 於茂登岳山腹崩壊箇所の治山事業について伺う。

3 離島医療の充実強化について

(1) 県立八重山病院の建設について伺う。

(2) 地方独立行政法人化に対し、地元の強い反対があるが見解を伺う。

(3) 医師・看護師の安定確保で、7対1看護と離島勤務に対する優遇措置について伺う。

(4) 県立病院での言語聴覚士の常勤体制について伺う。

4 離島振興(新たな沖縄振興のための制度及び計画提言)について

(1) 離島航空運賃の低減について伺う。

(2) 含みつ糖振興支援について伺う。

(3) 離島航路船舶の運賃の補助について伺う。

(4) 定住条件整備のための離島における県営住宅の建設について伺う。(竹富町・与那国町)

(5) 「離島・へき地支援のための離島児童・生徒支援センター(仮称)」の設置について伺う。

5 観光行政について

(1) 観光における八重山圏域の一体的発展を図るため、県八重山事務所・広域圏事務組合

の強化について伺う。

(2) バンナ公園の花木植栽で八重山における花の観光名所を形成することについて伺う。

6 防災対策について

(1) 「沖縄県防災計画」見直しの内容と各市町村の状況について伺う。

(2) 災害時における病人・高齢者・障害者等の避難支援のための「災害援護者支援計画」の策定について伺う。

(3) 防災訓練が石垣市で予定されているが、規模や内容について伺う。

7 尖閣諸島問題について

(1) 尖閣諸島海城内での漁業者の安全操業の確保の適切な措置について伺う。

(2) 海上保安庁の警備強化に向け、船艇等の機材性能の高度化と保安要員の適切な確保について伺う。

(3) 外国漁船被害救済事業を本年度、八重山・宮古圏域漁協への継続実施について伺う。

(4) 尖閣諸島周辺海域における監視警戒体制の強化に伴う石垣港の整備について伺う。

(5) 尖閣諸島での慰霊祭等実施のための上陸許可についての見解を伺う。

8 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成23年第5回沖縄県議会(定例会)

07月06日(水)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
3	17分	翁長 政俊(自民党)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 新たな沖縄振興計画について

- (1) 沖縄県に一国二制度を導入して、経済振興に特化した「全県経済特区」の創設が自立経済の確立には不可欠と考えますが県の見解を求めます。
- (2) 新たな沖縄振興で示した、税制及び規制緩和にかかわる制度要請に対し、政府の反応と協議の進展を伺う。
- (3) 沖縄振興一括交付金の創設を政府に求める交渉過程で、生じた課題、官僚の対応等、現状分析を伺う。
- (4) 沖縄振興一括交付金の市町村への配分基準が明確に示されていないように思いますが、県の方針を伺う。

2 米軍基地問題について

- (1) 日米安全保障協議委員会(2プラス2)閣僚会合において合意された在日米軍再編ロードマップを再確認し、着実に実施する方針を表明した。この合意に対する知事の見解と評価を伺いたい。
- (2) 普天間飛行場移設先をめぐり、米国議会や政府筋からも不協和音が聞こえ始めている。一枚岩の対応に緩みが生じ始めた感があります。米国内の政治環境の変化を県はどう分析するのか伺います。
- (3) 滑走路位置を「微修正を考慮する」とした記述は特筆に値し、仲井真知事への日米両政府の期待メッセージとの解説がなされていますが、知事はどのように受けとめておられるのか伺います。
- (4) 今回の2プラス2のねらいが、普天間飛行場の移設先が沖縄県外や外国ではなく、辺野古しかないことを強調することにあった。また、固定化が嫌なら同意しろと恫喝するかのよう聞こえますが、県外を求める知事の決意を改めて伺いたい。

3 福祉行政について

- (1) 県内41市町村で養護老人ホームの入所判定委員会を開催したのが、2010年で11市町村のみであった。「措置控え」が現実のものとなっている。県は速やかに入所判定委員会を開催するよう市町村を指導すべしと考えますがいかがか。
- (2) 新聞報道を受けて、県は初めて実態調査を実施しているようですが、その結果を報告してください。
- (3) 各市町村の受付窓口での速やかな申請受け入れや、定数枠を定めて予算化する措置をとるように県が指導してはどうか伺います。

4 道路行政とモノレール利用促進事業について

- (1) 平成22年度実施した沖縄都市モノレール利用促進事業における社会実験及びアンケート調査の結果について伺います。
- (2) 社会実験の結果を受けて、パークアンドライド事業の推進に、二輪駐輪場の整備計画を活用し、駅交通広場に駐輪場を設置することが望まれます。県の考え方を伺います。

5 スポーツ振興について

- (1) FC琉球(沖縄県がホームタウン)のリーグ昇格に向けて、早期に県からの出資及び補助金の支援決定が待ち望まれます。県の支援方針の決定時期を示してください。
- (2) 県が主導する形でホームタウン推進協議会の設置が急がれます。広く自治体、各種団体、企業等の参加を求め、支援体制の強化を図る必要があります。県の方針を伺いま

す。

6 東アジアの市場開拓について

- (1) アジアからの大型クルーズ船の寄港に伴い、入国審査や、特に税関検査は入港先の下船のたびに行われ、煩雑、停泊時間も限られている。日本国内であれば1度の審査でよいのではと乗客から不評を買っている。観光客誘致の観点からも改善すべきと思いますが、県の対応を伺います。
- (2) 県産牛肉のアジアへの出荷で輸出相手国の規制があり、県産牛肉は県外検査機関を経なければ出荷できない状況にあります。高コストにつながり販路拡大の妨げになっている。そこで、屠畜場の改善と検査機関の設置が望まれますが、県の対応を伺います。

7 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成23年第5回沖縄県議会(定例会)

07月06日(水)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
4	17分	池間 淳(自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 基地問題について</p> <p>(1) MV22オスプレイを普天間飛行場に配備することについて</p> <p>2 地震災害等危機管理対策について</p> <p>(1) 東日本大震災を受けて沖縄県の津波対策はどう見直されるのか。</p> <p>(2) 避難場所の指定について</p> <p>(3) 埋立地等での避難場所の確保について</p> <p>3 教育行政について</p> <p>(1) 日の丸へ向かって起立し、君が代を斉唱するよう指示した職務命令が最高裁で合憲と判断されました。教育長の御見解を承りたい。</p> <p>(2) 日の丸・君が代について教育長の今後の方針を伺いたい。</p> <p>(3) 臨時職員全国最多の解消についての取り組みについて</p> <p>4 土木行政について</p> <p>(1) モノレールの浦添市への延長についての進捗状況と今後のスケジュールについて</p> <p>(2) モノレールの延伸について</p> <p>(3) 伊良部架橋の工期が1年間おくれたと発表されておりますが、詳しい説明を伺いたい。</p> <p>(4) 最低制限価格の見直しについて</p> <p>(5) 乗瀬橋について県の取り組みや今後の見通しについて</p> <p>5 福祉行政について</p> <p>(1) 少子・高齢化対策について</p> <p>ア 多子家庭の県営住宅への優先入居について検討することになっておりますが、結果はどうなっておりますか。</p> <p>イ 多子家庭の保育園への優先入園について</p> <p>6 日本オープンゴルフ選手権沖縄大会について</p> <p>(1) 大会に向けての取り組み状況について</p> <p>(2) 大会が本県経済にどのような波及効果があるのかについて</p> <p>7 台風2号による被害状況と支援策について</p> <p>(1) 離島における農業の振興に取り組んでこられた作物が大打撃を受けていることから、何らかの支援が必要だと思われる。県の見解を伺いたい。</p> <p>8 北澤防衛大臣の一言発言について</p> <p>9 我が党の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成23年第5回沖縄県議会(定例会)

07月06日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	吉田 勝廣(無所属)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 沖縄振興特別措置法について</p> <p>(1) これまでの新法の制定に向けた取り組みの経緯について</p> <p>ア 政府との交渉はどうなっているか。</p> <p>イ 新法の制定について、民主、自民党等、各党の取り組み状況について説明されたい。</p> <p>ウ 一括交付金等に対する各党の政策を説明されたい。</p> <p>エ 8月の概算要求に向けた具体的な取り組みと要求の内容について説明されたい。</p> <p>(2) 今後の県の方針及び取り組みについて伺う。</p> <p>2 軍転特措法について</p> <p>(1) 沖振法と比較して政府及び各党の関心度は低く、新法制定に向けてのハードルは高いと考えるが、政府及び各党の動きと認識について説明されたい。</p> <p>(2) 着弾地及び山林、原野等の北部地域の跡地利用は、県が提案している跡地利用推進法(案)で完結するか伺う。</p> <p>3 北部振興について</p> <p>(1) 北部振興に対する政府の方向性と県の今後の対策について伺う。</p> <p>4 観光振興について</p> <p>(1) 観光客の落ち込みで観光産業と農林水産業等に大きな影響を与えている。現状と今後の対策を説明されたい。</p> <p>(2) 高速道路の運賃低減のために、従来どおりに特別調整費を活用できないか。</p> <p>5 農業問題について</p> <p>(1) 台風被害状況と農業共済加入状況について伺う。</p> <p>(2) 台風と潮害に強い農業の構築が求められているが、県の施策と今後の方向性を伺う。</p> <p>6 北部地域の河川の整備について</p> <p>(1) 自然環境を豊かにするためにも河川の整備は必要であると考えますが、北部地域の河川の現況と今後の対策を伺う。</p> <p>7 億首川の整備について</p> <p>(1) 億首川の整備についてこれまで事業を導入したことはあるか。</p> <p>(2) ボードウォークが建設されているが、県は建設に当たってどのように指導し、協議したのか伺う。</p> <p>(3) 現在の億首川の自然環境をどのように評価しているか。</p> <p>8 TATO(入れ墨)の事業所の開設について</p> <p>(1) TATOの営業許可と県内の事業所の数について伺う。</p> <p>(2) 衛生面等の指導及び監督はどうなっているか、説明されたい。</p> <p>9 MV22オスプレイの配備について</p> <p>(1) オスプレイの県内配備についてアメリカ政府の動きはいつごろからと判断しているか。またこのような動きに対する政府の対応はどうだったか伺う。</p> <p>(2) オスプレイの県内における訓練はどのように行われるか説明されたい。またアメリカにおける訓練内容についても説明されたい。</p>			

10 地位協定について

- (1) 西銘元知事から現仲井眞知事まで訪米し地位協定等の改定について要請したが、その主たる内容とアメリカの対応の変化及び成果について説明されたい。
- (2) 政府にも軍転協を中心に要請行動を展開したが、その主たる内容と政府の対応について伺う。
- (3) 各政党の地位協定の改定に対する取り組みとその内容について説明されたい。
- (4) アメリカ軍が駐留する各国において地位協定が制定されていると思うが、我が国との主たる相違点を説明されたい。

一般質問通告表

平成23年第5回沖縄県議会(定例会)

07月06日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	吉元 義彦(自民党)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 普天間飛行場移設問題について

- (1) 現政権が無責任なために2014年移設は断念となりました。これは、普天間基地の固定化につながる可能性さえになる大変危惧する事態になったと私は思っております。民主党政権になり約2年、県外、国外を叫ぶだけでは普天間は動かないことも我々は学びました。普天間基地の危険性除去のためどのような案があるのか、知事もこのことを重く受けとめてほしい。そのことについて知事の見解を伺います。
- (2) 国頭村安波(案)については、御存じのように地元、村長、村議会が混乱しており、私個人的にも村を二分しないかと心配しております。政府も米国も安波(案)については特段興味を示しておりませんが、今後話が進展するかもしれません。今後知事からも政府に対し、無用な混乱を招くことは避けるよう強くくぎを刺してほしいと思っておりますが知事の見解を伺います。

2 北部振興策について

- (1) 仲井眞知事は、北部振興事業の継続については、県土の均衡ある発展を図る観点から必要であると同時に延長すべきだと述べてきましたが、民主党政権は前原前沖縄担当大臣、枝野大臣も北部振興策の必要性は認めているが議論されている様子が見えない。今後どうなるのか、沖縄県からはどのような要請を政府に対し行っているのか説明をお願いします。
- (2) 北部振興策は北部が自立するための大きな施策だ。今後知事が先頭になり政府に強く求めていく必要があると思うが、知事の力強い決意をお聞かせください。

3 県内企業の振興について

- (1) 帝国データバンク沖縄支店が発表した2010年度の県内企業の休廃業、解散件数は前年度比22.4%減、3年連続で前年を下回ったものの、10年度の倒産件数40件に比べると4.9倍も発生している。また5月の県内企業倒産は前年度同比5件増、その内建設業が4件、負債総額は8.8倍で5カ月連続で前年同月を上回ったと発表されております。そのような中で景気の低迷に大きな不安を持っている中小企業の支援について、県の見解と支援について伺います。
- (2) 県建設業界は、米軍発注工事の受注機会の確保のため、契約時に発注金額と同額を保証するボンド制度について、基金の創設を要望しているが、県はどのように対応するか伺いたい。

4 地域医療の現状について

- (1) 県立北部病院の産婦人科医師の不足問題への対応を話し合う委員会が設立されたとのことですが、大変心強く思っております。具体的な委員会組織や協議内容をお聞かせ願いたい。
- (2) 県立北部病院の医師不足の現状と医師確保の取り組み状況について伺います。
- (3) 昨年6月、南部医療センター・こども医療センターの新生児集中治療室が満床という報道がありましたが、その後の状況について改善できたのかどうか伺います。
- (4) ハイリスク、低年齢化妊娠が高くなっている傾向にあると聞くと、各自治体で実施している妊産婦検診の状況はどのようになっているか。また、市町村指導体制及び広報活動はどのように取り組んでいるか伺います。
- (5) ドクターヘリ事業について2機目の導入の予定はこれまで検討されてきたと思いますが、その結果について伺います。

5 農畜産業の振興について

- (1) 農業大学の今年度入学生について、定員に対する充足率はどうなっているか。また、今春の新卒者の就農率はどうなっているか。農業担い手輩出の位置づけとして十分対応できているか伺います。
 - (2) 民主党の事業仕分けで交付金が減らされ事業見直しが迫られていると聞いていますが、沖縄農業の将来のためにも人材育成は重要であると思いますがどうなっているか伺います。
 - (3) 新規就農者が減少しているが、低迷している要因と対策について伺います。
 - (4) さとうきびの害虫「イネヨトウ」被害状況とその対策について伺います。
 - (5) 県内における肉豚飼養頭数の推移と肉用牛の飼養頭数の過去5年間の推移について伺います。
 - (6) 今後の肉豚、肉用牛の生産振興対策について、沖縄県はどのように計画しているのか伺います。
 - (7) 沖縄食肉価格安定基金に係る県の方針について伺います。
- 6 公共関与による産業廃棄物管理型最終処分場の整備について
- (1) 県内の産業廃棄物管理型最終処分場の現状はどうなっているか伺います。
 - (2) 県が進めている公共関与による産業廃棄物管理型最終処分場の整備について
 - ア 現在の進捗状況についてどうなっているか伺います。
 - イ 公共関与事業の規模及び施設の概要について伺います。
 - ウ 県の今後の取り組みについて伺います。
- 7 住宅防音工事について
- (1) 建具機能復旧工事においては、今年度(平成23年度)から沖縄防衛局管轄住宅防音工事地区は、85Wコンター内から80Wコンター内に実施可能になったが、県外他局管轄住宅防音工事地区では75Wコンター内も実施されている。不平等・地域格差があってはならないと思うが、県の見解を伺いたい。
 - (2) 国による住宅防音事業の制度は、嘉手納・普天間飛行場周辺におけるうるささ指数80W地域(昭和56年)、75W地域(昭和58年)に地域指定されているが、住民が本島中南部地域では騒音の影響を受けずに居住できる地域に限られ、告示日による住宅防音工事対象外は不平等であるとの強い不満がある。実際に隣接する家屋が住宅防音工事ができるどころと、できないところで不平等な生活を強いられている。不平等を解決するためには告示日の撤廃しかない。県の見解を伺いたい。
 - (3) 嘉手納・普天間飛行場周辺で事業所も騒音被害を受けており、各事業所(店舗・事務所)等の防音工事の実施はできないか。県の見解を伺いたい。
- 8 国の天然記念物「名護のひんぷんガジュマル」の抜本的保護対策について
- (1) 「ひんぷんガジュマル倒木対策推進懇話会」が設置され3回の懇話会が開かれたとのことだが、抜本的な保護対策について結論が出されたのかどうか伺います。
 - (2) 同ガジュマルは中心市街地を通る県道84号線の真ん中に立ち、また、あなだ橋との影響もあると考えられるが、この点については県はどのようにとらえているか伺います。
- 9 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成23年第5回沖縄県議会(定例会)

07月06日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	新垣 良俊(自民党)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 農業の振興について

(1) 農業農村整備事業の予算の確保について

沖縄県においては、「持続的農林水産業の振興と多面的機能を生かした農山漁村の振興」を目指し各種施策が実施されていると認識しているところであります。本県の生産基盤の整備率は、本土各県に比較し低いと聞いております。本県の農業を取り巻く環境は、台風、干ばつ等厳しい自然条件や離島性、市場遠隔性等の制約条件があることから極めて厳しい状況にあり、地域特性を生かした豊かな農業農村を築くため、農業農村の基盤整備は極めて重要であります。平成22年度の農業農村整備事業予算の大幅削減に続き、23年度予算も厳しい状況にあると聞いておりますが、平成24年度予算の確保に向けて、県としてどのような取り組みを行っているのか。また、予算の確保見込み等を含めて県の見解を伺いたい。

(2) 農地及びかんがい施設等の生産基盤施設の保安全管理について

ア 復帰後、沖縄振興計画及び農林水産業振興計画に基づいて農地やかんがい施設等の膨大な農業生産基盤が土地改良事業により整備され、機械化の進展や水なし農業からの脱却等、本県の農業振興を図る上で大きな役割を果たしている。これらの施設の一部は、整備されて20年から30年が経過し老朽化している施設が多くなっている。持続的な農業振興、農村地域の環境保全等を図るためにも行政・土地改良区・農家等が一体となってこれら施設の適切な保安全管理が重要である。県では、保安全管理についてどのような取り組みを実施しているか伺いたい。

イ また、市町村、土地改良区等から施設の補修や再整備に当たって、整備時における設計図書等が必要であるが、保管整理が十分でないため支障があるとの声があるが、県では施設管理台帳等の整備についてどのように指導・支援を行っているか伺いたい。

(3) 八重瀬町東風平地区の農業農村基盤整備について

ア 旧東風平地域においては、復帰後に農業基盤整備事業を導入し、生産基盤の整備を推進してきたところであります。ほとんどの地域で圃場整備が実施され約30年が経過しております。現在、地域においては次男・三男の宅地確保の要望が大きくなっております。土地改良事業の換地の手法を活用した非農用地の創設を過去の議会において何度かお願いしてきたところであります。そのことについて、県としても積極的に推進するとの答弁でした。この間、県としてどのように取り組んできたのか。その状況について伺いたい。また、今後どのように取り組んでいくか、方針等について伺いたい。

イ 東風平地域は農業用水がほとんど整備されておられません。持続的な農業振興を図るためには水源、かんがい施設の整備は重要であります。東風平地域の農業用水源及びかんがい施設の整備についてどのように取り組んでいくか、現在の取り組み状況と今後の方針について伺いたい。

2 離島・過疎地域の振興について

(1) 離島・過疎地域の生活基盤整備について

ア 粟国空港の航空路線の維持確保は、離島振興と地域住民の生活安定を図る観点から重要であります。拡張整備に向けて基礎調査やパブリック・インボルブメントが実施され、積極的に推進していると思うが、県としてどのような取り組みを行っているのか。また、予算の確保見込み等を含めて伺いたい。

イ 南北大東空港の照明施設については、昼間の着陸用空港として運用しているため滑走路灯及び滑走路中心線灯の整備がされていません。南北大東村では夜間に急患が出て急患輸送をしなければならないときに、夜間照明は村民の生命の安心・安全と夜

間急患輸送の安全性を高めるためにも必要不可欠な施設だと思うが、県の取り組みについて伺いたい。

- ウ 渡嘉敷航路は、渡嘉敷港を発着地として村民を初め観光客の送迎施設、そして生活物資の入荷を扱う重要な港湾である。年間約19万人の入域者があり、活性化や村の経済振興と地域の発展に寄与しています。しかし、船舶乗降口までの屋根つき通路の設置がされてなく、観光をリーディング産業とする本県として早急に整備すべきだと思うが、県としてどのような取り組みを行っているのか伺いたい。
- エ 座間味港の防波堤西側港口の砂の堆積により航路が浅く出入港時に支障が出ているが、現地調査を実施し早期にしゅんせつと標識、灯台等の設置をすべきであるが、県の取り組みについて伺いたい。
- オ 先月の台風2号で渡名喜村漁港の第二沖防波堤の西側が沈下したが、村民の足である定期船の出入港に影響はないか。その状況について伺いたい。また、今後どのように取り組んでいくか、対応策について伺いたい。
- カ 小規模離島航空路利用活性化事業は、空港のある小規模離島の6路線が対象になっているが、路線拡大と継続について伺いたい。また、小規模離島の船舶の運賃低減化を図る計画はないか、県の見解を伺いたい。

(2) 離島・過疎地域の農業の振興について

- ア 南北大東村においては、農業用水源、かんがい施設の整備が進んでいると聞いております。施設整備後はかんがいのための施設の運転経費等が農家経営には大きな負担となっておりまう。農家等の負担軽減のため、県としてどのような支援を行っていくか伺いたい。
- イ 久米島町カンジン地区の太陽光施設の整備の進捗状況はどうなっているか伺いたい。
- ウ 粟国村の農業基盤整備の状況と今後の計画について伺いたい。
- エ 久米島町、津堅島のアリモドキソウムシ、イモソウムシの根絶事業の進捗状況と今後の計画について伺いたい。

3 生物資源の研究開発について

(1) ヤトロファについて

- ア 島嶼型ゼロエミッションエネルギーシステム構築事業が今年度から始まり、2億5313万円が計上されている。今回の事業は、ヤトロファという樹木を80系統以上の種類から沖繩に適した品種を選定して収量増大研究を行う事業だと聞いているが、何年をめどに品種を決定するのか伺いたい。
- イ また、ヤトロファはバイオディーゼルの原料として有用であると栽培が盛んに行われているが、1ヘクタール当たり年間何トン生産できると見積もっているか伺いたい。

(2) 産業用大麻(ヘンプ)について

- ア 産業用大麻(ヘンプ)は、栃木県では県が中心となり栃木麻を栽培しています。そして現在、北海道、長野県、徳島県などで市民団体を中心にしたまちおこし運動に取り組んでいます。県内においては、宮古島市で市民団体がヘンプの利活用の普及について取り組んでいます。用途の広い産業用大麻(ヘンプ)は、世界各地で開発が進んでいます。この産業用大麻(ヘンプ)の研究栽培は、県知事の許可が必要である。産業用大麻(ヘンプ)について知事の見解を伺いたい。
- イ 産業用大麻(ヘンプ)を島嶼型ゼロエミッションエネルギーシステム構築事業として、また、新産業創出事業としてぜひ推進してほしいと思います。現在、産業用大麻(ヘンプ)の栽培許可を得るには、大麻が盗まれないように畑の周囲に高い鉄条網を設置して施錠することなど厳しい条件が課せられています。そこで、小規模離島を「バイオ研究地区」として位置づけをすることで離島の産業振興・雇用促進が図られると思うが、見解を伺いたい。

4 教育行政について

(1) 離島児童・生徒支援センターの建設について

離島に住む子供たち、家族が本島と同じように教育の機会均等、そして生活の場を設ける趣旨で建設を計画していることに心強く思っています。県としては、高校生、専門学校生の寮と児童生徒の本島でのあらゆる行事への参加時の宿泊施設を計画していると聞いているが、離島児童生徒、家族の経済的・精神的負担の軽減を図るためにも早急に建設すべきだと思うが、現在の取り組み状況、今後の方針について伺いたい。

(2) 集団暴行事件について

ア 八重瀬町で発生した集団暴行事件で4人が傷害容疑で逮捕されたとマスコミ等で報道されました。逮捕された中に高校生が含まれていることが残念でなりません。県教育委員会として、生徒の暴力行為の防止に向けてこれまでどのような取り組みをしてきたか伺いたい。

イ また、「学校・家庭・地域・関係機関との連携が大切」と言われるが、実際にどのように連携しているのか伺いたい。

5 警察行政について

(1) 少年犯罪について

八重瀬町東風平の運動公園で発生した集団暴行事件で、傷害容疑で4人が逮捕された。糸満署は、少年らから任意で犯行時の状況や動機などについて事件の全容解明に慎重に努めてもらいたいと思います。今回の事件は、命のとうとさや思いやりの心の育成に向け取り組んできた地域住民の思いが踏みにじられる結果となり残念でなりません。今度の集団暴行事件等の県内の刑法犯少年と不良行為少年の現状、特徴、対策について本部長の見解を伺いたい。

6 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成23年第5回沖縄県議会(定例会)

07月06日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
8	17分	浦崎 唯昭(自民党)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

- 1 知事の政治姿勢について
仲井眞県政の方向性を確認する。
 - (1) 大きく揺れ動く国際情勢の中で国政もまた激動しているが、その中で国政と県政のあり方について
 - ア 国政と県政との違いを示してください。
 - イ 違いを乗り越え切磋琢磨し、県民と国民の幸せのために全力を挙げるべきだと思いますが、知事の考えをお聞かせください。
 - (2) 東日本大震災について
 - ア 「県民の心をひとつに」という知事の公約が、大震災を受けて国民の心を一つにしなければならないということで輝きを増してまいりますが、いかがですか。
 - イ 知事の強力なリーダーシップを示すときだと思いますが、いかがですか。
 - ウ 東京都の石原慎太郎知事は6月6日に「東京を守るために」という中で、「今回の大災害は我々に今まで安易に続けられてきた全ての物事についての、基本的な反省を強めてきているのに物事の優先順位も無視して財政の破綻を、まず取れるものから強引に取り上げ、目先を糊塗するというやり方をこの国を牛耳ってきた国家の官僚たちとそれに追従駆使させられてきた政治家たちが改めぬ限り、この国は崩壊の一途をたどるに違いない。」と発言されておられますが、知事の感想をお聞かせください。
 - (3) 平和宣言について
 - ア 沖縄の全戦戦没者のみたまは24万1132人だそうです。正確に記することはなくとも、それに近い数字を宣言したほうが国民に訴える力になると思いますが、いかがですか。
 - (4) ウィキリークスについて
 - ア 米国政府の秘密文書を暴いて、世界で大きなニュースになっております。そして、その中で沖縄の基地問題も報道されておりますが、その情報漏えいについて県はどのようにとらえておりますか。
- 2 福祉行政について
 - (1) 平成20年度の医療制度改革が県内の国保財政に大きく影響を与えていることについて
 - ア その影響についての調査を示してください。
 - イ 国との交渉となると思うが、県がしっかりリーダーシップを発揮して正常化に県も全力を挙げて努力すべきだと思いますが、いかがですか。
- 3 商工労働行政について
 - (1) 技能五輪全国大会開催誘致について
 - ア 大会の意義を説明してください。
 - イ 本年は第48回目の全国大会とのことだが、沖縄県での開催がないのはなぜですか。
 - ウ 沖縄県の開催に努力してください。
 - (2) 技能グランプリ開催について
 - ア グランプリの意義を教えてください。
 - イ 技能五輪との関連を示してください。
- 4 文化の振興について

(1) しまくとぅばについて

ア しまくとぅばは教育委員会から文化観光スポーツ部にシフトしましたが、現状を説明してください。

イ 知事のマニフェストではしまくとぅばの保存について力強く述べておられるが、展望を伺います。

5 我が党の代表質問との関連について